

敷島中学校 生徒の皆さんへ 中学校からのエール

1年1組 担任 山下寿春

一年生のみなさん、こんにちは。1年1組の担任の山下寿春です。1年生の中にはまだ会ったことがなく、初めましての人が多くいますが、1年間よろしくお願いします。担当教科は英語で1年生の全てのクラスで授業をします。

さて、みなさんは休校期間中どのように過ごしていますか。課題に取り組んだり、少し身体を動かしたりしている人もいますが、それでも時間があふってしまう人も多いと思います。こんな状況だからこそ物事をプラスに考え、普段ではできないことにじっくりと時間をかけてほしいです。中学生になると勉強、部活、行事で毎日がとても忙しくなります。小学校のときに自分が苦手だった科目、今できる自分の趣味・やってみたいことなどにじっくりと時間をかけて取り組むことで、この休校期間を中学校生活に向けての「充電期間」にしてほしいです。

健康観察日にみなさんから預かった課題やアンケートに目を通していると、みなさんの家での頑張りや、これから始まる中学校生活に向けたやる気をひしひしと感じ、「早くみなさんと敷島中学校での生活をスタートさせたい」という気持ちが日に日に強くなっていきます。お互い元気な顔で中学校生活をスタートできるように、この「充電期間」を大切に、健康に気を付けて生活していきましょう。みなさんとの生活を楽しみにしています。



© dak

敷島中学校 応援メッセージ

2年1組 担任 根岸 大貴

こんにちは。2年1組担任の根岸大貴です。今回、さらなる休校の延長によりみんなに会えない日数が延びてしまいました。非常に寂しく思います。今このような状況になり、感じていることがあります。それは、生徒のみんながいなければダメだということです。学校は、やはり生徒のみんながいて活気づくと思います。授業、学級、部活動、行事など生徒のみんなが頑張っている姿をみて、私もエネルギーをもらっていたように思います。学校に再開した時に、互いに情熱をもやして様々なことに取り組めるように今は力を蓄えていきましょう。

休校期間中のテーマは『思考』だと考えています。自分自身で選択できる時間があるからこそ考えてください。1日中読書するも、寝るも、ゲームするも選択した結果は自分自身に戻ってきます。せっかくの機会だから、自分を磨く機会にしてみませんか。理想の姿をイメージして、そこに辿り着くためにどういう順序で行動しなければならないのかを考えてください。『思考』したことが学校生活に必ず役立ちます。

最後に私が今読書している【勝ち続ける組織の作り方 著青森山田高校サッカー部監督・黒田剛さん】の本からこの言葉紹介します。

『チャンスは日々の生活の中にある。』

夢の実現は、ブロックの積み上げ作業と似ている。大きな夢をブロックの頂点と考えたとき、実現するためには、ブロックを高く高く積み上げなくてはならない。しかし、ただ高く積み上げればよいわけではない。重要なのは、土台となる1番下の段のブロックをどれだけ広く、数多く並べられるかだ。なぜなら、土台がしっかりしていればしているほど、上にも高く、安定して多くのブロックを積み上げられるからである。夢への土台は、生活習慣や礼節、知識力、コミュニケーションスキル、努力、向上心、忍耐力、出会い、挑戦心など。まだまだ多くの要素が必要となる。日頃の生活に隠されている微かなチャンスを見逃さない「研ぎ澄まされた心の準備」こそが、最も大切であることを忘れてはならない。



© dak

3年1組 担任 佐藤 耕太

みなさん元気に過ごしていますか？先日の『生徒健康確認日』にみなさんと会えて本当に嬉しかったです。短い時間でしたが、元気そうな姿を見ることができて安心しました。4月に3年1組の担任になり、1号館3階の教室でみなさんを迎える準備をしています。しかし休校が長引き、なかなかスタートできず残念です。今も3年1組の教室でみなさんへのメッセージを書いています。(三密を防ぐために教室勤務です)みなさんのいない教室は本当に寂しいですね。

さて、みなさんは毎日どのように過ごしていますか？学習はしていますか？適度な運動はしていますか？三密は避けていますか？自由な時間は使い方が難しいですよ？先生も、普通の土日は部活動でしたので、正直困っていました。そこで、2つの事を始めてみました。

1つ目は自分を鍛えることです。特に筋トレやランニングなどの体力面の強化を始めました。黒かった顔も白くなりつつあったのですが、最近は元の黒い顔に戻りました。2つ目は家族との時間を大切にしています。息子2人と一緒に宿題をしたり、工作をしたり、キャッチボールやサッカーなど庭でできることをしています。これからは自宅キャンプ(庭にテントを張って寝ること)にも挑戦しようと思っています。

時間の使い方って本当に難しいですよ。1日は24時間。これはみんな共通しています。学校に来られない今だからこそできることを考えてみましょう！新しく何かを始める良い機会です。今までの自分になかった力、感じたことのない感情や新たな経験を身につけてほしいと思います。この休みをマイナスにとらえるのではなく、プラスにとらえてほしいと思います。

1日でも早くみなさんと一緒に、この3年1組の教室で学校生活を送れることを楽しみにしています。



© dak